

## 廃プラスチック利用 新建材製造事業とは

市の基幹産業である林業や木製品製造業などにおける端材・切り粉などと、木質建設廃材や家電リサイクル工場における廃プラスチック、市内誘致企業などからの廃プラスチックを活用し、新しい木質素材を製造します。

プラスチックと木材を融合した新しい住宅建材は、循環型社会の新しい試みとして注目を集めています。

秋田ウッド(株)では、デッキやベンチ、建具、サッシ、フローリング材などを製造する計画です。

### 秋田ウッド(株)の概要

本社 白沢字松原570番地

資本金 8、500万円

工場 鉄骨平屋1部3階建て

延べ床面積3、750㎡

従業員数 9人(将来は25人体制を目指しています。)

総事業費 142、862万円

うち国補助金 71、431万円

県補助金 1、000万円

同社は、大館市工場等設置促進条例に基づく「指定工場」として指定されました。

## 製造プロセス

分別



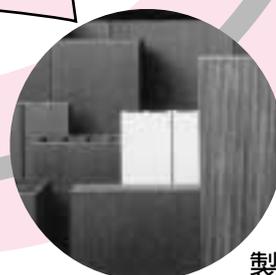
破碎・金属除去



融合・造粒



成型・加工



製品

組立

## 材料(廃材・廃プラスチック)

木質系廃材



木質、製材工場加工端材

建築廃材

パレット

プラ系廃材



資源有効材

家電

容器包装材 産業用廃プラ・その他

## 用途・製品

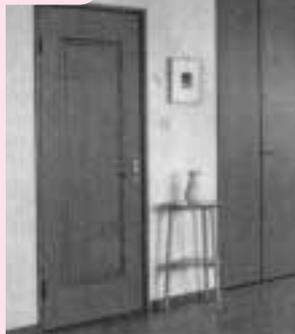
サッシ



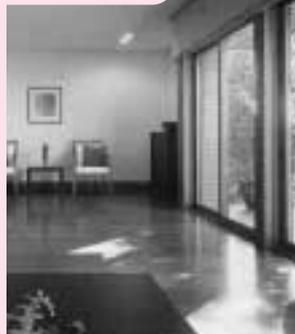
デッキ



建具



フローリング



製品は使用後回収され、原料として活用されますので、再リサイクルされます。

